

令和4年度マリンサイエンスギャラリー(企画展示)

房総の魚

名魚・珍魚・
ふつうの魚

令和5年 2月23日(木・祝)～5月7日(日)



カツオ

クマノミ

クサフグの産卵

サケガシラ

■ご利用案内

開館時間：午前9時～午後4時30分

入場料：一般：200円

高校・大学生：100円

中学生以下、65歳以上、障害者手帳

をお持ちの方と介護者1名：無料

休館日：月曜日(祝日の場合はその翌日)

■交通

JR外房線：鶴原駅から徒歩約15分

勝浦駅からタクシーで約10分

勝浦駅から小湊鉄道バス「ミレニア勝浦」

行き「海の博物館」下車徒歩1分

駐車場：普通車2時間まで200円

障害者手帳をお持ちの方と介護者は無料

〒299-5242 千葉県勝浦市吉尾123

TEL 0470-76-1133

URL <http://www.chiba-muse.or.jp/UMIHAKU/>

千葉県立中央博物館 分館
海の博物館



房総半島周辺で見られる「名魚」(水揚げされる代表的な魚, 美味しい魚), 「珍魚」(滅多に見られない魚, 変わった形の魚, 不思議な生活をおくる魚), 「ふつうの魚」(現時点でふつうに見られる魚)を標本や映像で紹介するとともに, 人とのかかわりや環境の変化について考えます。

房総の名魚

カツオ(左)は初夏になると房総沖を北上します。勝浦ではこのカツオを曳縄釣り(トローリング)で漁獲して, その日のうちに水揚げしています。このため鮮度が非常に良く, 「日戻りカツオ」と呼ばれています。

キンメダイ(右)は体が赤く, 眼が金色に光ります。房総沖の深海に生息し, 長い釣糸の先に多数の針をつけて深海の魚を釣る立縄釣りで漁獲されています。



房総の珍魚

1958年に東京湾の定置網で, 全長約2mのカラチヨウザメ(上)が捕獲されました。房総からはそれ以降全く記録がありません。主な生息地は中国の長江周辺で, 展示個体は分布の東限記録になっています。

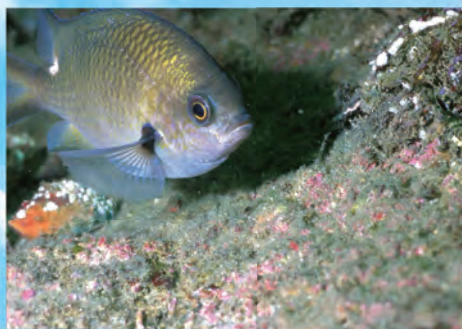
オオウナギ(下)は熱帯域を中心に分布していますが, 房総では稀です。2022年に南房総市で12年ぶりに捕獲されました。



房総のふつうの魚

スズメダイ(左)は温帯域の岩礁でふつうに見られる魚です。春から夏にかけて, メスはオスのなわばり内の岩の上で産卵し, オスは卵がふ化するまで世話をします。

ハコフグ(右)は, 皮ふが変形してできた固い鱗で体が覆われています。幼魚(右上)の体色は黄色で水玉模様が多数見られ, 磯ではよく目立ちます。



関連イベント開催のお知らせ

オープニングセレモニー

令和5年2月23日(木・祝) 10:00~10:30 (申込不要)

展示会場において, 「房総の魚」企画展示責任者による展示解説を行います。

講座「房総の魚」

令和5年3月19日(日) 13:00~14:30 定員15名 中学生以上対象(3月5日までに申込必要)

開催中の企画展示「房総の魚」の展示解説を行うとともに, スライドで内容を詳しく説明します。

お問い合わせ 千葉県立中央博物館分館海の博物館 TEL: 0470-76-1133

ウェブページ <http://www.chiba-muse.or.jp/UMIHAKU/>

